



ハンドボールのまち春日井へ

オリンピック種目でもあるハンドボール。どんなスポーツか具体的に知らない人が多いのではないのでしょうか？そこで、市内で普及活動に携わっている、春日井市ハンドボール協会理事長の鷹来中学校校長の辻井賢一先生(以下辻井先生)と、副理事長を務める県立春日井高校の尾崎年英先生(以下尾崎先生)に突撃インタビューしてきました。



春日井市ハンドボール協会理事
春日井市立鷹来中学校 校長

辻井 賢一 さん



春日井市ハンドボール協会副理事長
愛知県立春日井高等学校 教諭

尾崎 年英 さん



一人の高校教員から続く 春日井ハンドボールの系譜。

春日井ハンドボールスクールは、競技者の裾野を広げようと、中学・高校で部活を指導していた教員の方々を中心となって25年前に発足したそうです。「教員仲間はずれが、その部活を指導していたのですが、恩師の鶴の一声で一致団結。みんなで協力をし、スクール発足に奔走したんですよ」と笑いながら語ってくれたのは、当時中部中学校でハンドボール顧問を担当していた現・鷹来中学校校長の辻井先生。この「恩師」というのは、春日井高校一筋の教員人生を送り、ハンドボールを教えていた杉村先生という方です。「杉村先生への憧れから、私の学年では5人、ひとつ下の学年は10人ほど。自分と同じように多くの春日井高校出身者が体育教師になりました。私たちが続々と地元春日井市の高校や中学に赴任し、それぞれの学校でハンドボール部の顧問に就任したんです。なので、一時は市内中学校15校のうち14校までハンドボール部が活動していました」。辻井先生自身は、野球部出身だったものの、中部中学校でハンドボール部の顧問に就任。同窓生など春日井高校OBからハンドボールの指導方法を学び、ついには、全国大会で優勝するまでのチームを育て上げ

たそうです。それでも辻井先生は「基本に忠実に指導しただけで、良い選手に恵まれていたんです」と懐かしそうに話す姿が印象的でした。

その後、春日井市のハンドボール全体としては、中部大学との連携を始めました。「杉村先生を中心として中学・高校が連携して、小学生のスクールも発足。そこに中部大学のハンドボール部監督から協力いただけるようになったのです」。2014年度には、大学選手権の全国優勝も果たした中部大学。辻井先生によると、中学生の指導はもちろん、小学生に対してもヨーロッパの練習方法を取り入れて指導するなど、新しい取り組みにつな

目指せ、オリンピック！ 選手育成の新たな取り組み。

今回、インタビューしたもう一人、現在春日井高校でハンドボール部を率いる尾崎先生も、やはり春日井高校出身。以前赴任していた春日井南高校では、男子ハンドボール部を率いて、公立高校にもかかわらず愛知県で準優勝となり全国大会出場を果たしています。「良い選手が育ってくれていたのと、たまたま強豪私立高校の監督が世代交代だったことが大きかったと思います」と話してくれました。そんな尾崎先生は、春日井高

校で教鞭を執りながら、春日井市ハンドボール協会の中心となって、春日井市全体のハンドボール発展に尽力されています。

近年、スポーツニュースなどでなかなか取り上げられなかったハンドボールですが、2020年東京オリンピックに向けて、全国的にもじわりじわりと盛り上がりを見せています。一方で、「春日井市内では少子化の影響などで、部活動のメンバーが集まらず、廃部になってしまいう学校も増えています。日本代表が出場する東京オリンピックで、必ずハンドボールも注目されるでしょう。そのときに、興味を持ってくれた子どもたちの受け皿を、私たちは用意しておきたいんです」と尾崎先生。優秀な選手を春日井から輩出できる環境を整えるために様々な取り組みを実行しているそうです。

例えば、実業団チーム招待して市内でトップ選手によるハンドボール教室を開催したり、スクールの小学生にも中部大学ハンドボール部監督の指導を受ける機会を設けたりしているそうです。「イチ教員の立場だとなかなか交渉も難しく……」と尾崎先生の苦労は絶えないようですが、子どもたちがトップレベルに触れるチャンスは増えています。尾崎先生は続けて「中高生向けには、NTS(ナショナルトレ

子どもたちが個性を生かして活躍する ハンドボールスクール。

とある土曜日。中部中学校の体育館に集まるのは、春日井ハンドボールスクールの皆さんです。市内全域の約50名の小学生から中学生までのスクール生が、基礎の練習から始めます。小さなメロンほどのボールを使って、ボールの持ち方、遠くに投げる時のフォーム、下から繰り出すパスや、ボールをキャッチする姿勢など、ひとつひとつの動作をコーチたちに確認してもらいながら、丁寧に練習を進めます。

練習の後半は、男女学年別に分かれて試合形式の練習です。子どもたちは、全力で走り回りながら声を掛け合い、パスを投げる、キャッチする、ドリブルして攻め込み、思い切りシュートを投げ込む。

ニングシステム」というプログラムへの参加を目指したトレーニング合宿を春日井市内で行っています。この合宿には、東海地方の優秀な中高生選手が集まります。ここで認められれば、文部科学省などが進めるNTS参加につながっています」と話してくれました。NTSに選ばれるということは、すなわち将来のオリンピック選手候補になるということです。まさに、世界の舞台への道筋が、春日井市に作られているのですね。

直接感じてほしい！ ハンドボールの魅力。

春日井市ハンドボール協会は、小学生からスクールで競技を始め、中学・高校の部活動、そして大学の部活動までと、春日井市内でトップレベルのハンドボールを身に付けられる環境を作ってきました。

将来的には春日井出身のオリンピック選手を輩出する、という目標を持っているそうです。「ハンドボール競技の魅力はなんといっても、走る・跳ぶ・投げるといった運動の3つ要素がすべて入っていることです。なので、子どもの運動能力を一番伸ばせるスポーツなんです」と辻井先生。運動能力を向上させたい、はたまたオリンピック選手を目指したいという子どもたちが、一生懸命取り組んでいますので、ぜひ春日井ハンドボールス



ハンドボールのコートはバスケットボールコートの約2倍。コートでプレーするのはゴールキーパーを含めて7人ですが、試合の局面に合わせて1チーム15〜20人の選手が自由に交代していきます。めまぐるしい試合展開の中で、背の高い子、低い子、足が速い子、ボールを投げるのが得意な子、作戦を立てるのが得意な子。子どもそれぞれの特徴を活かして活躍できるのが、ハンドボール最大の良さであり、魅力です。



クールを覗いてみてください。

また、春日井市ハンドボール協会では、日本のトップ選手が競う日本ハンドボールリーグの試合を春日井市に誘致する活動をされてきたそうです。念願叶って、春日井市スポーツ・ふれあい財団の協力のもと、スポーツ観戦事業として10月22日(日)に、日本ハンドボールリーグの2試合が総合体育館で開催されることになりました。「まず、間近で迫力あるハンドボールの試合を観てください。選手たちの肉体的なテクニクを見るだけでもワクワクしますよ」と尾崎先生は見所を教えてくださいました。日本のトップ選手の試合を観戦できる貴重な機会。総合体育館に足を運んでハンドボールの魅力に触れてみませんか？

スクールへの問い合わせは

春日井ハンドボールスクール

検索

日本ハンドボールリーグ 春日井大会

日時:10月22日(日)13:00~(開場12:00)
会場:春日井市総合体育館
試合内容:第1試合13:00~ トヨタ車体×トヨタ自動車東日本
第2試合15:15~ 大同特殊鋼×トヨタ紡織九州

春日井市総合体育館にて市民券(前売のみ)を販売中。
一般入場券は、チケットぴあなどで販売中。